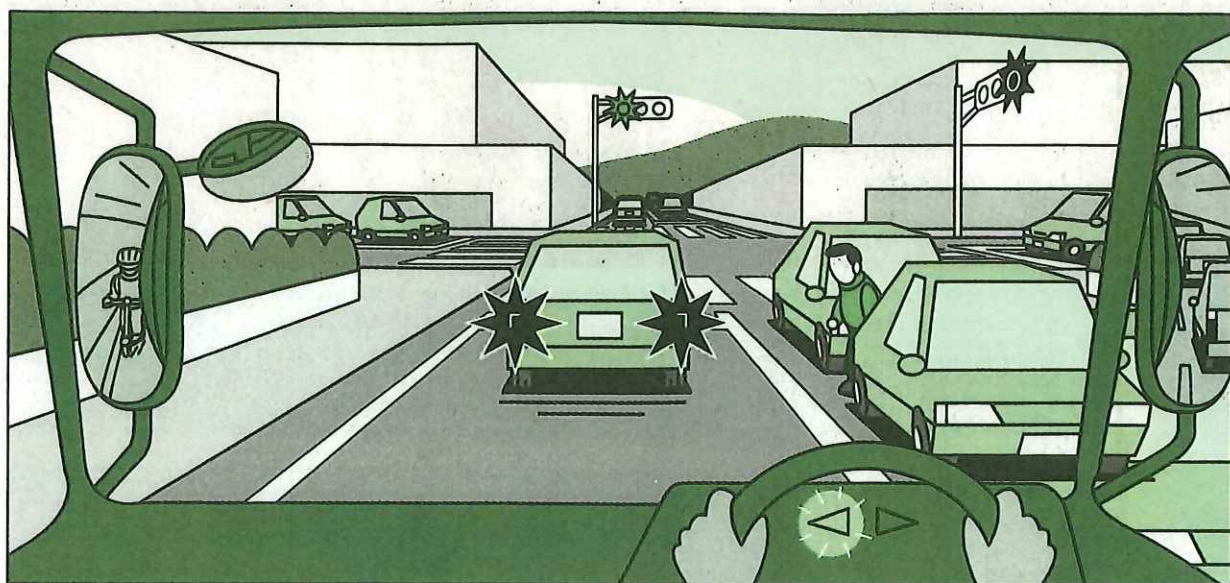


危険予知訓練 (KYT) シート：交通事故防止編 あなたならどうしますか？

〔第 153 回〕「前車に追従している時の左折」

状況

あなたは年末で混雑している片側 1 車線の道路を前車に追従しながら走行しており、前方の交差点を左折しようと考えています。対向車線は渋滞しています。この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。



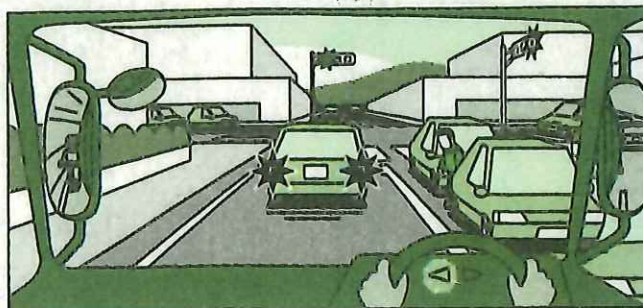
◆どのような危険がありますか？

◆どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

危険予知訓練 (KYT) シートの解説

▶ 交通事故防止編

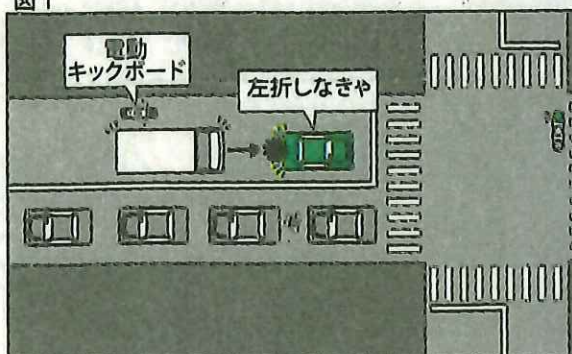
あなたは年末で混雑している片側1車線の道路を前車に追従しながら走行しており、前方の交差点を左折しようと考えています。対向車線は渋滞しています。この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。



どのような危険がありますか？

- ① 自転車と同じく左折しようと急減速した前車に追突する危険があります (図1)。
- ② 渋滞している対向車線の陰から出てきた歩行者と衝突する危険があります (図2)。
- ③ 左折時に左側方を走行してきた電動キックボードを巻き込む危険があります (図3)。

図1



どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

- ① 左折の合図が出ていないから、前車はこのまま直進するだろうと考えて、漫然と運転していると、左折しようと慌てて減速した前車と衝突する危険があります。すべてのドライバーが適切に合図を出すとは限りません。年末年始の繁忙期は、運転に不慣れであったり、ルートをしっかり把握できていないドライバーがハンドルを握っているケースも考えられます。繁忙期こそ、車間距離をしっかりとることを徹底しましょう。
- ② 渋滞車列の間に人影が見えることから、渋滞車列の間から歩行者が横断してくることが予測できます。歩行者は「トラックなら横断させてくれるだろう」と考え、十分な安全確認をせず横断してくることがあります。対向車列が渋滞している時は、渋滞車列から横断してくる歩行者を予測しておくとともに、横断歩行者に対応できるよう減速と徐行走行を心がけましょう。
- ③ 左折する時も油断してはいけません。自転車の左側方には電動キックボードが見えます。次世代の移動手段として注目されている電動キックボードですが、二輪車であることから安定性が悪く、急ブレーキで転倒しやすい特性があります。また車体が小型であることから、原付や二輪車と比較しても見落としやすくなり、死角の大きいトラックは特に注意する必要

図2

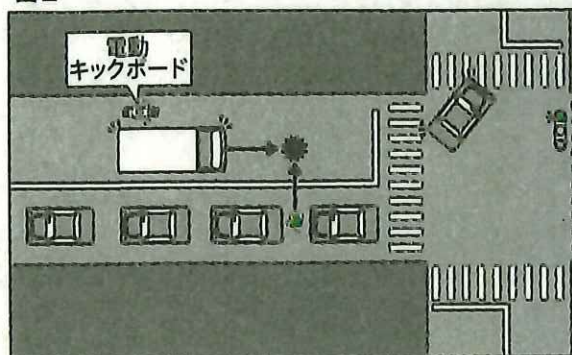
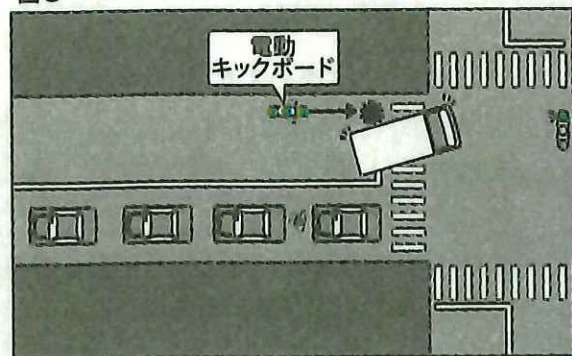


図3



があります。このような電動キックボードの特性を理解しておくとともに、見つけた時はその動静をしっかり確認することを徹底しましょう。